

-FOR ADULT ONLY-
TOHO PROJECT FANBOOK



オオニ・プリンセス はたて 轟

ONIE PRINCESS HATATE

R18
For Adult Only



よく分かるあらすじ

独りで慰めることに中毒になってしまっていたはたてちゃん。

ある日、はたてちゃんの住んでいる長屋に文が引っ越してくる。
初めて会った二人だが、共に行動しているうちに
はたてちゃんは文のことが気になるようになっていった。

文に対してドキドキするようになったはたてちゃんは
軽い気持ちで文が外出しているときに部屋へ侵入する。

その最中に文が部屋に戻ってくるが
後に引けなくなり睡眠薬で文を眠らせてしまう。

ヤケになってその場を楽しんでしまうが、
そこへさらに権がやってきて…。

絶体絶命の時に、ふらっと地上に遊びに来ていた古明地こいしの
協力により…

あれ？
どうなったんだっけ。

そして文が目を覚まし、はたてちゃんは結局見つかってしまい…。





どうして...?

なんでこんなことするの...?

どうしてって...
気持ちいいことしたいからに
決まってるじゃない。

もう独りは飽きちゃったの。



わあ



いやあ...

わっ、なにこの感じ...



だからって...

無理やりなんて...



えへへ。

文の、
おつきくなってきた。



太くおつききて

文のあそこっ

すごくびくびくしてるの分かるわっ

はっ

入ったあ

クセになつちやいそうつ!!

すし

ぬち

ぬち



だっ!!

ダメ!!

これ以上、
動いちゃつ

ぬち

すし



私も...
もう出ちやいそろう
だからあ!!

はたてつ、
だめ...



もう私、
いつちやうそろう!!

はー、やばっ

ぬち

ぬち



びゅん



びゅん

姫海棠

また文のこと考えて
えっちな妄想
しちゃった…。

さっきあんなことが
あったばかりなのに
戻ってすぐこんな…。

なに…これ、全部
はたてがやったの…？



えっと…
それはね、

す、睡眠薬…
なんだけどさ。



あ、あの、ちよつと
体が火照つちやつて。

我慢できずに
文の部屋に
お邪魔しちやつたの。

でもね!
悪気はないっていうかさ!
私は文のことを最近、



帰つて。

早くここから出て行つてと

えっ?

言っているの。

文が怒っているの、
初めて見た…。
いっつも
笑ってくれてたのに。



大切な友達を
自分の自分勝手に
失うのは絶対に嫌…。



もうお話することも
手をつなぐことも
できないかも。

えへへ

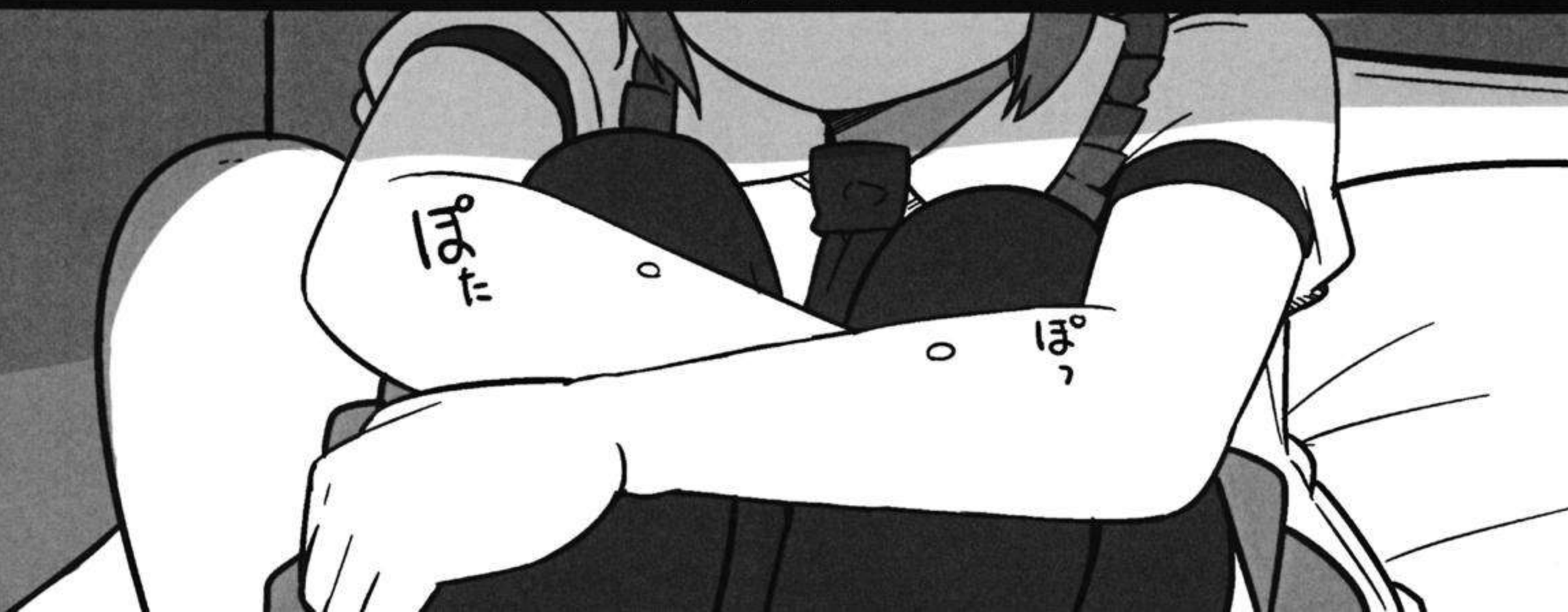
いっつも

ユ

またあの温かさを
感じたいなあ…。

ほた

ほっ





ちゃんと謝らなきゃ。
許してもらえない
だろうけど…。

んっ
ちゃんと
ぽろ
ぽろ
ちゃんと
言わなくちや。
なんで
言えな
かった
んだ私。



文の
ところに
急が
なきゃ。



何して
んだろ。
こんな
ことし
てる場
合じゃ
ないわ。



花も、ごめんさない。

うん、
謝りにきたの。

その…。



良かった。

戻ってきてくださると、
信じていましたよ。



いいんですよ、私は。
…気にしないでください。



全部、私が
悪いんだもの。

うっ…、絶対に謝る。



でもこのまま文さんを、

悲しませたままだったら、
その時は怒るかもしれません。



さ、文さんも中で
待っていますから。

ふふ、安心しました。



久しぶり？

文さんと久しぶりに
話したいと思って。



柊はどうして
文のところに来たの？

邪魔しておいて
言うのもなんなのだけど



ええ、
文さんは哨戒班の
先輩だったんです。

ずっと一緒に
仕事していたんですよ。

文と知り合いだったのね。



じゃあ文の部屋に
柗のぬいぐるみが
あったのって…。

先輩が新聞広告班に
異動すると決まったときに、

おい出来てる…

あーあれですか。



その…えっと、私のこと…
ずっと見ていてほしいと思って
お渡ししたんですよ。



えっ、
それって

もしかして
柗って…？

えと、私ですね…
先輩にずっと

あこがれていたって
言いますか、

はい、
好きだったんです。
だから今日も
顔が見たくて。

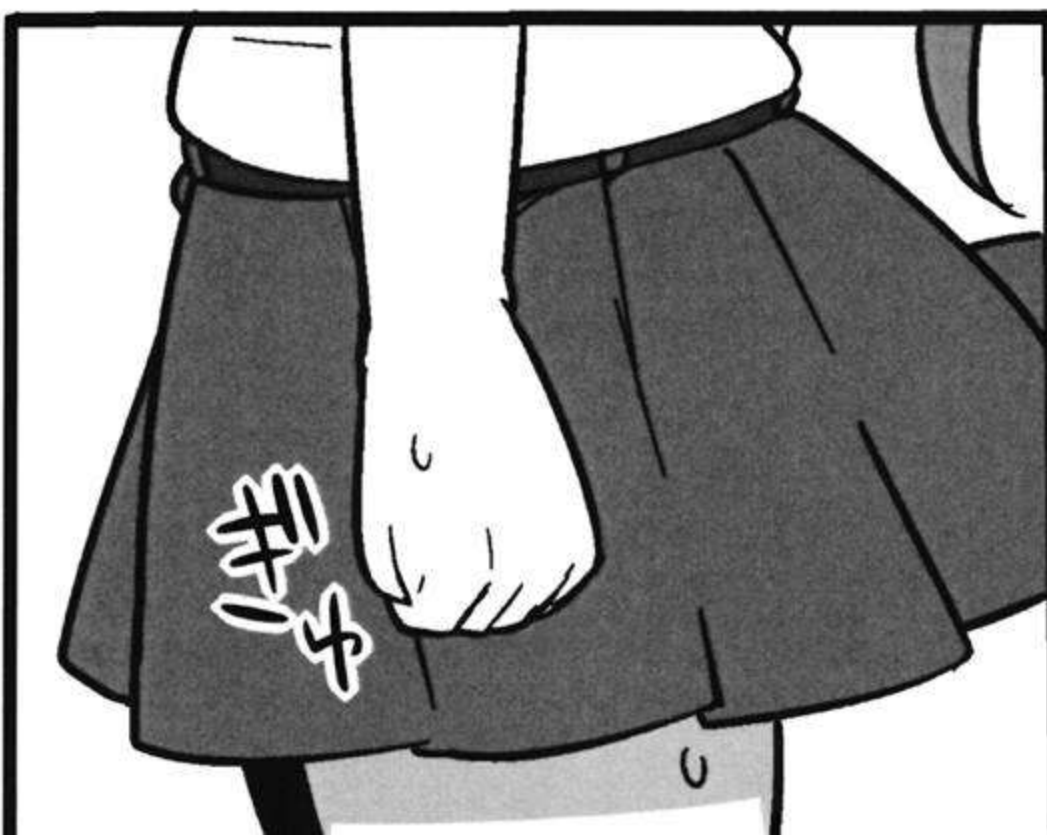




それに比べて私は、
文のこと
ちゃんと考えて
なかった…。



私と正反対だ。
栞の想いはまっすぐで。
それをちゃんと
伝えてる…。





あ、あのー!!

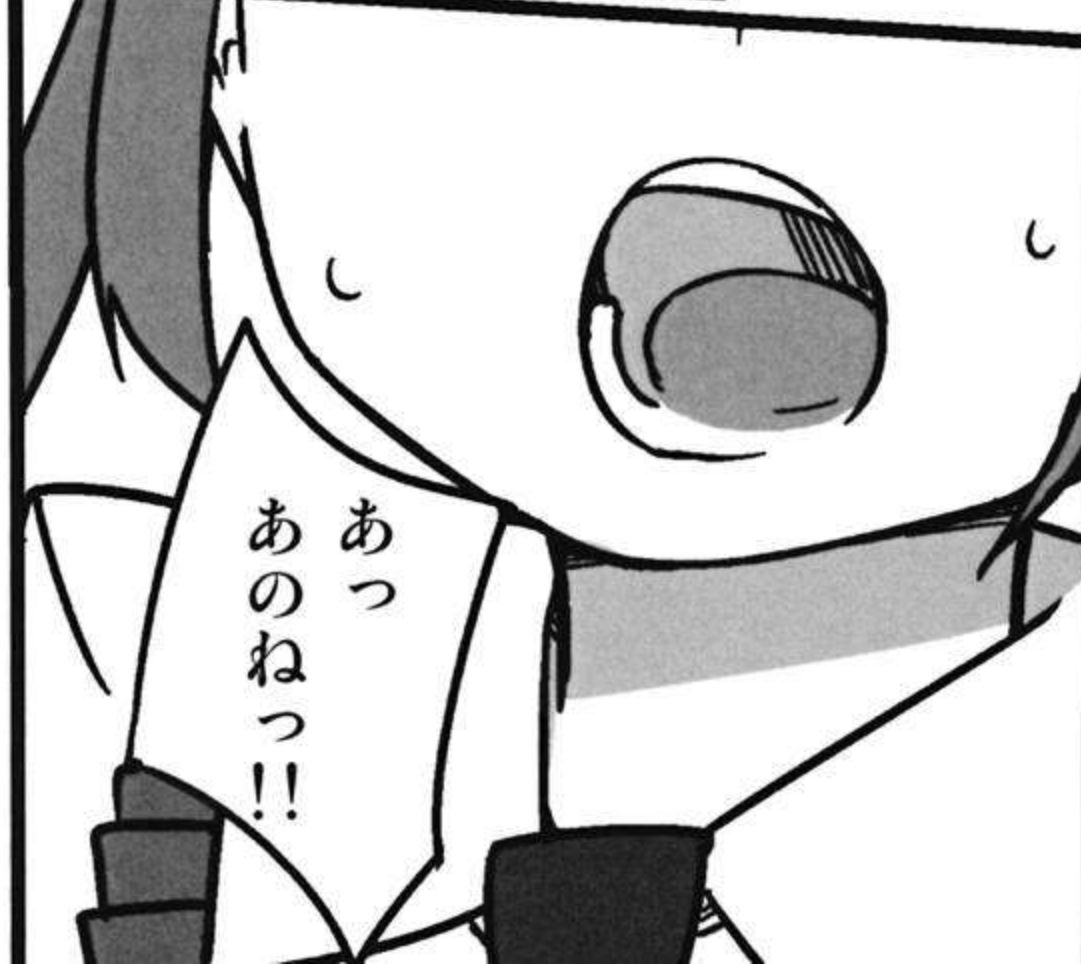
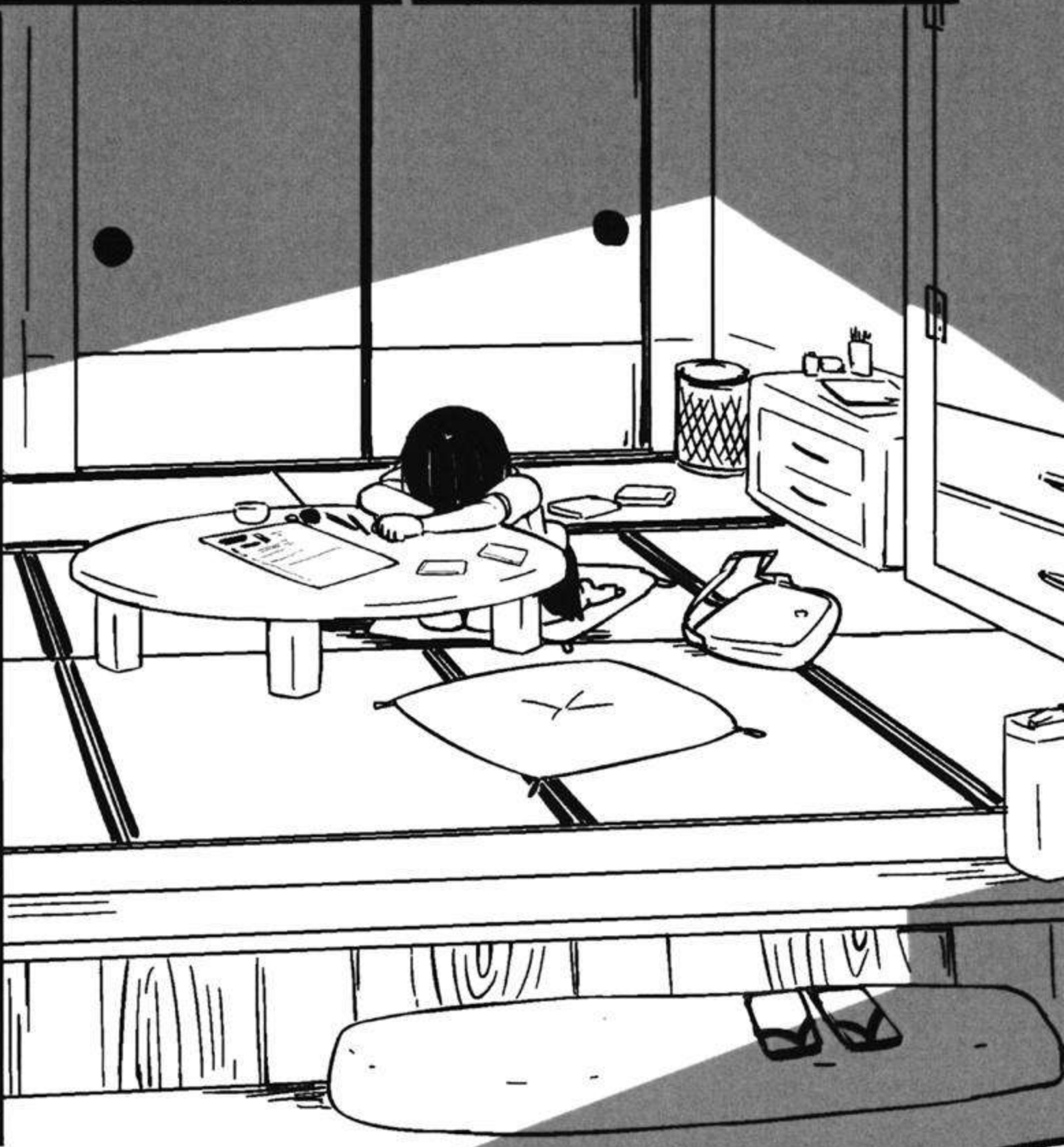
…ああ、はたてか。

どうぞ。



…何しに来たの。

忘れもの？



あっ
あのねっ!!



はい

ごめんなさい!!!

たくさんたくさん
傷つけて...

あの...
私ずっと
自分本意で...

文のこと
ずっと想っていたのに、
全然文の気持ちを
考えていなくて...

びっくりすると思うけど
えっと、私ね。

文のこと
好きになっちゃったの!!

ずっと
片思いだったの!!!

好きだけど、
一方通行だったから
ずっと辛くて苦しくて...
それに、

...

アッ



そーだよ、
こんなやつに付きまとわれたら
嫌、だよ。



私のほうがずっとずっと
苦しかったんだから!!

何か勘違いしてるかも
しれないから
言っとくけど!!

そうじゃないの!!

そういうこと
じゃなくて…。



私も…

あんとと
一緒にいて…

とても
楽しかったし
ドキドキ
したの。



多分、私もあんたのこと
ずっと気になってて、

だから部屋を荒らされて、
変な薬を使われて、
…ビツクリしちゃっただけ

だから、そんなに怒ってはいわ。



うっせ…

…好きなやつに
嫌なことされたら
苦しいわよ…



根に
持ってるな...

じゃあ眠らせて
あげようか？

私を寝かせて
もっとひどいこと
してたんでしょ？

あれは眠らせてたから
よかったけど、これは
恥ずかしいわよお...

もう独りじゃないって分かったからね。

それはもういらないから捨てるわ。



あとがき

読んでいただけてありがとうございます。
とにかくありがとうございます。

次は文友か来年の例大祭です。
オナプリの完結編はあやはたのえっちなところ
いっぱいという感じがいいですね。
いいなあ。
あ～～ああああああ～～～るるる～。
どすこい！！！！

あ、何かあったら配信のほうにお願いします。

奥付

オナニープリンセスはたて 転

発行日 2017年5月7日
発行者 ジョニ氷
連絡先 mid.win.gsk@gmail.com

印刷会社 株式会社栄光 様



COLOR-STAINING

カラステイニング